

第5回串間市農業委員会定例総会

日 時 平成29年10月31日(火) 開始14:30 終了16:01

会 場 串間市役所3階大会議室

出席農業委員 14名

1番(会長)	川崎 善昭	6番	奥村千扶子	10番	菊永 宏親	15番	原田 俊一
2番(会長代理)	井手 重則	7番	武田 建次	11番	島田さつき	16番	廣見 安彦
3番	内田 政秀	8番	武田 昭一	12番	山崎 昭二		
5番	瀬治山満弘	9番	谷口 利則	13番	黒木 一則		

欠席農業委員 1名 14番 寺迫 邦廣

出席推進委員 14名

【福島地区】	黒木 松吾	鈴木 信	川野 昭広	西 正和	牧野 宣英
【大東地区】	野邊 敏郎	堀口 宗幸	森 幸壽	清本 良夫	
【本城地区】	中津留 厚	森本 好昭	蓑輪 正弘		
【市木地区】	橋口 勝彦	門内 武			

欠席推進委員 1名 【都井地区】上村 眞司

議事録署名委員 7番 武田 建次 11番 島田 さつき

議 事 日 程	第1	報告(合意解約)	農地法第18条第6項の規定による届出について
	第2	議案第25号	農地法第3条の規定による許可申請について
	第3	議案第26号	農地法第4条の規定による許可申請に対する意見について
	第4	議案第27号	農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について
	第5	議案第28号	農用地利用集積計画の承認について(所有権移転)
	第6	議案第29号	農用地利用集積計画の承認について(利用権設定)

出席事務局	4名	事務局長	吉国 保信	次長	河野 あずさ
		調整係長	酒井 尋	主任技師	古屋 雅史

議長（会長）	<p>ただいまから、第5回農業委員会定例総会を開催いたします。本日は14番委員と上村眞司推進委員より欠席届が提出されていますので、本日の出席農業委員は14名、出席農地利用最適化推進委員は14名でございます。</p> <p>農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の農業委員の出席がありますので、総会が成立していることを報告いたします。</p>
議長（会長）	<p>議事録署名委員の指名</p> <p>本総会での議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>議事録署名委員は、7番 武田建次 委員、11番 島田さつき 委員にお願いします。</p>
議長（会長）	<p>ただちに議案審議に入ります。</p>
議長（会長）	<p>報告：農地法第18条第6項の規定による届出について</p> <p>まず報告、農地法第18条第6項の規定による届出について、事務局より報告させます。</p>
事務局	<p>農地法第18条第6項の規定による合意解約について報告いたします。</p> <p>今回の合意解約は2件でございます。内容といたしましては、貸人の申し出によるものが解約の理由となっております。お目通しいただきたいと思います。</p>
議長（会長）	<p>議案第25号：農地法第3条の規定による許可申請について</p> <p>次に議案第25号、農地法第3条の規定による許可申請についてであります。審議に入ります前に当該議案に16番委員に関する事案がありますので、農業委員会等に関する法律第31条「議事参与の制限」により、当該議案の開始から終了までの退室をお願いします。また、関係事案の終了後に入室・着席をお願いします。暫時休憩します。</p>

(16 番委員 退室)

議長 (会長)

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは議案第 25 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件ありますが、先に受付番号 3 番の 1 件を議題といたしまして審議を行います。

まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 25 号、農地法第 3 条の規定による許可申請は、受付番号 1 番から 3 番の所有権移転に関する 3 件ありますが、先に受付番号 3 番の 1 件を説明します。

事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第 3 条第 2 項各号の不許可の事由につきましては、

「第 1 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第 3 号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第 4 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第 5 号」 権利取得を含めた経営農地が 50 アールに達しない場合

「第 6 号」 今回の申請農地を転貸しようとする場合

「第 7 号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合

であります。

今回の許可申請受付番号 3 番の 1 件につきましては、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。

議長 (会長)

説明はお聞きのとおりでございます。ただいまの説明に対しまして、受付番号 3 番の 1 件について、15 番委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

15番委員	<p>議案第25号、農地法第3条の規定による許可申請について、私が調査したのは受付番号3番の所有権移転に関する1件でございます。</p> <p>受付番号3番について、渡人は受人の規模拡大の意向を受け、受人へ申請地を売買するものです。受人は申請地の取得後は、水稻の育苗ハウス敷地として利用するとのことでございます。受人は現在、水稻645アール・ごぼう40アール・オクラ15アールの経営を行い、機械保有・労働力・技術面においても何も問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、農業従事状況において、本人が300日、妻180日の常時従事があります。申請地周囲は宅地と水田がありますが、育苗ハウスとして利用されるため、水稻栽培期間より先に作業が終了することから、作付けの違いによる周囲に及ぼす影響は考えられません。また、農薬等による周辺作物への影響はハウス内の作業であるため全くありませんが、農薬散布・防除については基準に従いますとのことであります。また、地域の農地利用調整にも取り組むとのことであります。</p> <p>以上、受付番号3番の所有権移転に関する1件の調査を行いました。農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件を満たしており何も問題ないと思います。ご審議方よろしく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりでございます。</p> <p>これより議案第25号、受付番号3番の1件について質疑に入ります。質疑はございませんか。</p> <p>（なしの声）</p>
議長（会長）	<p>質疑がないようですので、お諮りいたします。</p> <p>議案第25号、受付番号3番の1件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なしの声）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということでありますので、議案25号、受付番号3番の1件は許可することに決定します。</p> <p>暫時休憩します。</p> <p>（16番委員 入室）</p>

議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>それでは議案第２５号、先に審議しました受付番号３番の１件を除く、受付番号１番から２番の２件を議題といたしまして、審議決定を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第２５号、農地法第３条の規定による許可申請、受付番号１番と２番の所有権移転に関する２件について説明します。</p> <p>事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第３条第２項各号の不許可の事由につきましては、先ほど受付番号３番で説明したとおりであり、今回の許可申請受付番号１番と２番の２件については、農地法第３条第２項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆さんのご審議をよろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。</p> <p>まず、受付番号１番の１件について、８番委員より説明をお願いします。</p>
８番委員	<p>議案第２５号、農地法第３条の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号１番の所有権移転に関する１件でございます。</p> <p>受付番号１番について、渡人は高齢者の一人暮らしであり、農地の管理ができないということで、現在の耕作者である受人へ売買を行い、また、受人は申請地へ水稻を作付けし、経営の安定を図るとのことでした。受人世帯は高齢者であります、毎年水稻を２５アール、食用甘藷１４０アールの作付けを行っており、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、受人世帯は高齢者であります、申請地を長年耕作していること、現在、申請地の隣接を受人が所有しており、畦畔を除去して作業軽減を図りながら、申請地と併せて作付けしています。このことから、申請地は受人しか購入できない状況であります。また、受人世帯に後継者はいませんが、現在、県外で会社員をしている息子が退職後、農業を行うということでもあります。以上のことから問題ないと考えます。農業従事状況については、本人は高齢者であります、健康状態がよく年間３００日、妻が年間１５０日以上に従事日数があり、問題ないと考えます。申請地の周辺地域は水田地帯であり、農薬散布・ヘリ防除・水利調整などに参加されるため影響はありま</p>

8 番委員	<p>せん。</p> <p>以上、受付番号 1 番の所有権移転に関する 1 件について調査いたしましたが、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件をすべて満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>次に、受付番号 2 番の 1 件について、2 番委員より説明をお願いします。</p>
2 番委員	<p>議案第 2 5 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、私の調査区域は受付番号 2 番の所有権移転に関する 1 件です。</p> <p>受付番号 2 番につきましては、渡人は夫婦 2 名で申請地を持分 2 分の 1 ずつ所有していますが、離農のため受人へ売買し、受人は規模拡大を図るものであります。受人世帯は食用甘藷とごぼうの栽培を行う専業農家であります。食用甘藷が 3 0 0 アール・ごぼう 2 0 アールの栽培を行っており、農業従事状況においても本人が 3 0 0 日・妻が 3 0 0 日・父母ともに 3 0 0 日の従事があり、労働力・機械保有・技術面においても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。申請地には食用甘藷を作付けすることとありますが、周辺地帯は甘藷畑であるため、作物の違いによる農薬散布の影響はないと思われます。また、申請地には渡人の建築した農業用倉庫がありますが、受人は 1 2 月には撤去し、農地復旧後は食用甘藷を作付けすることとありますので問題ないと考えます。</p> <p>以上、受付番号 2 番の所有権移転に関する 1 件の調査を行いました。農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件をすべて満たしていることから何も問題ありません。ご審議方よろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>これより議案第 2 5 号、受付番号 1 番から 2 番の 2 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>なしということとありますので、お諮りいたします。</p> <p>議案第 2 5 号、受付番号 1 番から 2 番の 2 件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>

議長（会長）	異議なしということですので、議案第２５号、受付番号１番から２番の２件は許可することに決定します。
議長（会長）	<div data-bbox="443 295 1684 335" data-label="Section-Header"> <p>議案第２６号：農地法第４条第１項の規定による許可申請に対する意見について</p> </div> <p>次に議案第２６号、農地法第４条第１項の規定による許可申請に対する意見について、受付番号１番の１件を議題といたしまして、審議決定を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第２６号、農地法第４条第１項の規定による許可申請は、受付番号１番の１件であります。</p> <p>農地法第４条第６項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、</p> <p>「１号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合</p> <p>「１号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合</p> <p>「２号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合</p> <p>「３号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合</p> <p>「４号」 許可申請地を転用することにより、土砂流出・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合</p> <p>であります。</p> <p>受付番号１番の１件の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため、「第２種農地」に区分されることから、農地法第４条第６項１号ロには該当しておりません。</p> <p>したがって、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号１番の１件につきましては、農地法第４条第６項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆さんのご審議をお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまの説明に対しまして、受付番号１番の１件について、１３番委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。</p>

1 3 番委員	<p>議案第 2 6 号、農地法第 4 条第 1 項の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号 1 番の 1 件です。</p> <p>受付番号 1 番については、昭和 5 1 年に申請人の父が個人住宅を建築したが、地目変更がなされていなかったために今回申請されたものです。申請地周辺は住宅地ではありますが、一部北側に農地がございます。境界にはすでに石積み・ブロック積みがされており、土砂流出のおそれはなく、雨水は南側の道路側溝へ排出し、生活排水も南側に設置された污水管に接続しているため、何も問題と思われず。</p> <p>以上、受付番号 1 番の 1 件について調査をしましたが、農地法第 4 条第 6 号各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりでございます。</p> <p>これより議案第 2 6 号、受付番号 1 番の 1 件について質疑に入ります。質疑はありますか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>ないということですので、お諮りいたします。</p> <p>議案第 2 6 号、受付番号 1 番の 1 件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、議案第 2 6 号、受付番号 1 番の 1 件は許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。</p>
議長（会長）	<p>議案第 2 7 号：農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について</p> <p>次に議案第 2 7 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を議題といたしまして審議決定を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第 2 7 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は、受付番号 1 番から 6 番の所有権移転に関する 6 件であります。</p>

事務局

農地法第5条第2項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流出・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合

であります。

受付番号1番の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法第8条第1項第1号に規定されている「第一種住居地域」に該当するため、「第3種農地」に区分されることから、農地法第5条第2項1号ロには該当しておりません。

次に、受付番号2番から4番の3件の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではありませんが、農地法第5条第2項1号ロにあります、集団的に存在する農地その他良好な営農条件を備える「第1種農地」であることから、不許可の事由に該当することになります。しかし、受付番号2番と3番は、農地法施行令第4条第1項第2号イ及び農地法施行規則第33条第1項第4号にあります、「住宅その他の申請に係る土地の周辺の地域において、居住する者の日常生活上または業務上必要な施設で集落に接続するもの」に当たることから、申請地は「第1種農地」ではありますが、不許可の例外に該当しています。次に受付番号4番は、譲受会社が事業を行うために申請地を取得し、隣接する山林と一体的に経営を行うことから、目的の達成に必要であると認められること、申請地周辺の全体事業面積13,617㎡のうち、今回の申請地が638㎡であることから、総面積に占める割合が5%であるため、農地法施行令第4条第1項第2号ニ及び農地法施行規則第36条にあります、「申請地に係る農地を隣接する土地と一体として同一事業の目的に供するものであって、事業目的を達成するうえで当該事業を供することが必要と認められる場合。ただし、申請に係る事業の総面積に占める第1種農地の面積が3分の1を超えないものに限る」に該当するため、申請地は「第1種農地」ではありますが、不許可の例外に該当しています。

事務局	<p>次に、受付番号５番から６番の２件の申請地農地区分につきましては、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため、「第２種農地」に区分されることから、農地法第５条第２項１号ロには該当しておりません。</p> <p>したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号１番から６番の６件につきましては、農地法第５条第２項各号に該当していないため、許可要件をすべて満たしていると思われます。皆さんのご審議をお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。</p> <p>まず、受付番号１番の１件について、６番委員より説明をお願いします。</p>
６番委員	<p>議案第２７号、農地法第５条第１項の規定による許可申請について、私の担当は受付番号１番の所有権移転に関する１件でございます。</p> <p>受付番号１番の１件については、受入は現在家族３人で借家に居住しているが、子供の成長とともに手狭になったため、申請地に個人住宅を建築したいと申請するものです。申請地の周囲は住宅地であるため、農地はありませんが、境界にはブロックを積むため土砂流出の恐れはなく、雨水は北側の道路側溝へ排出し、生活雑排水も北側に設置されている下水道へ接続するため、周囲への影響はありません。</p> <p>以上、受付番号１番の１件については調査しましたが、農地法第５条第２項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから、何も問題ありません。ご審議方よろしく願いたします。</p>
議長（会長）	<p>次に、受付番号２番から３番の２件について、７番委員より説明をお願いします。</p>
７番委員	<p>議案第２７号、農地法第５条第１項の規定による許可申請に対する意見について、私の調査区域は受付番号２番と３番の所有権移転に関する２件であります。</p> <p>受付番号２番につきましては、譲受会社は測量業を営業していますが、現在、賃貸契約している事務所兼住宅の契約更新が条件に合わず、また、他の賃貸物件では現状の規模を確保することが難しいことから、事務所及び会社業務に必要な用具等を収納する倉庫２棟、来客及び従業員用の駐車場を確保する必要があるため、同等規模を確保できる土地を探していたところ、申請地が適合したため申請するものであります。申請地の周辺は水田地帯であります。住宅化が進んでいる地域であります。申請地は宅地・市道・田に隣接しており、ブロック塀の設置により土砂流出防止を行い、雨水は敷地内に新たに排水路を設置して、南側にある既存の農用排水路へ流すとのことです。生活雑排水は合併浄化層を経由して排水し、水路の管理者である土地改良区へ</p>

7 番委員	<p>の了解も得ているとのこと。また、隣接する田の所有者へは建築することについて承諾を得ており、日照についても問題ないと思われますので、転用による土砂流出及びその他の災害を発生させる恐れはないと考えます。</p> <p>次に、受付番号 3 番につきましては、受付番号 2 番の申請地の隣であり、事務所隣接に個人住宅を建設するものであります。申請地は農地及び市道に隣接しているため、受付番号 2 番と同様、ブロック塀の設置・雨水対策のための排水路の設置・生活雑排水は、合併浄化槽を通じて排水させるなど、同等の対策を講じることとのことでありますので、転用による土砂流出及びその他の災害を発生させる恐れはないと考えます。また、建築に伴う周辺農地への日照の影響も、農地所有者と協議済みであるため問題ないとのことでございます。</p> <p>以上、受付番号 2 番と 3 番について調査しましたが、農地法第 5 条第 2 項各号に該当していないため、何も問題ありません。ご審議方よろしくお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>次に受付番号 4 番の 1 件について、11 番委員より説明をお願いします。</p>
11 番委員	<p>議案第 27 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号 4 番の所有権移転に関する 1 件です。</p> <p>受付番号 4 番につきましては、渡人が購入後に耕作していましたが、周囲が山林化したことにより、日照不足及び鳥獣被害が多かったことから、昭和 50 年に植林され、転用申請を失念していたとのこと。また、渡人は高齢となり管理もできなくなったうえ、台風で倒れてしまっているスギもあったため、これ以上保有しても価値も低下すると判断したため、受人へ売却するものでございます。受人は申請地の近隣に山林を保有しており、製材用丸太やバイオマス発電用丸太などの素材生産の増産のため、山林として管理していくとのこと。購入後は、定期的の下刈り・枝打ち・間伐などを行い、管理していかれるそうです。なお、雨水については、これまでどおり自然沈下及び自然排水で対応可能でありますので、土砂流出・崩壊などの災害発生への恐れは考えられません。また、申請地の東側と南側に隣接農地がありますが、日照が十分に確保されているため何も問題ありません。</p> <p>以上、受付番号 4 番の 1 件を調査しましたが、農地法第 5 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから何も問題ないと思われます。ご審議をお願いします。</p>
議長（会長）	<p>次に受付番号 5 番の 1 件について、13 番委員より説明をお願いします。</p>
13 番委員	<p>議案第 27 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号 5 番の所有権移転に関する 1 件です。</p>

1 3 番委員	<p>受付番号 5 番につきましては、議案第 2 6 号農地法第 4 条で審議されました、受付番号 1 番の宅地への追認申請に隣接し、現在も宅地の一部として利用されていることから申請されたものでございます。申請理由としては、受人の父が渡人より贈与を受け、個人住宅建築の敷地内として利用されていましたが、名義及び地目変更がなされていなかったことから申請されています。境界にはすでに石積み及びブロック塀が設置されており、土砂流出の恐れはなく、雨水は南側の道路側溝へ排出しているため、何も問題はないと思われます。</p> <p>以上、受付番号 5 番の 1 件を調査しましたが、農地法第 5 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから問題ないと思われます。ご審議をお願いします。</p>
議長（会長）	<p>次に受付番号 6 番の 1 件について、1 6 番委員より説明をお願いします。</p>
1 6 番委員	<p>議案第 2 7 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号 6 番の所有権移転に関する 1 件です。</p> <p>受付番号 6 番につきまして、渡人は申請地の周囲がスギ山であり、日照不足で耕作不便であることから、渡人の父が植林したとのことです。また、渡人が高齢により管理できないことから、申請地の隣接の山林所有者である受人へ売買を行い、受人は所有山林と一緒に管理していくとのことであります。申請地の周辺は山林化しているため農地はなく、雨水排水に関してはこれまで自然沈下で対応可能であることから、土砂流出及び崩壊などの災害発生の恐れは考えられません。今後は受人が所有する山林と一緒に、定期的の下刈り等を行い、管理していくため問題ありません。</p> <p>以上、受付番号 6 番の 1 件を調査しましたが、農地法第 5 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから問題ないと思われます。ご審議をお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりでございます。</p> <p>これより議案第 2 7 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>それでは、ないようですのでお諮りいたします。</p> <p>議案第 2 7 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>

議長（会長）	異議なしということですので、議案第２７号、受付番号１番から６番の６件は許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。
議長（会長）	<p>農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案</p> <p>次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認についてありますが、審議に入ります前に、あらかじめ市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。</p>
事務局	<p>平成２９年１０月分につきましては、串間市長より平成２９年１０月２３日付で、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定による農用地利用集積計画の承認が求められております。</p> <p>内容につきましては、議案第２８号・所有権移転が１件・面積が２，０００㎡、議案第２９号・利用権設定が６件・面積が１８，４２８㎡でございます。</p>
議長（会長）	それでは、ただいまから市からの提案について審議に入ります。
議長（会長）	<p>議案第２８号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転分</p> <p>議案第２８号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、受付番号１番の１件を議題といたしまして審議を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第２８号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は受付番号１番の１件を説明いたします。</p> <p>「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項、 第１号）今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること 第２号イ）耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること</p>

事務局	第２号ロ） 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められることであり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番の１件については、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。
議長（会長）	説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、受付番号１番の１件について、１１番委員より説明をお願いします。
１１番委員	議案第２８号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、私の担当区域は受付番号１番の１件でございます。 受付番号１番の１件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であり、また、受人及び世帯員が行う畜産経営に必要なトラクター等の農業機械の保有状況・労働力・技術面からみてなにも問題なく、効率的な畜産経営を行えること、後継者の確保もされており畜産経営に必要な十分な常時従事があるため、該当要件をすべて満たしており、何も問題はありません。ご審議のほどをよろしくをお願いします。
議長（会長）	説明はお聞きのとおりであります。 これより議案第２８号、受付番号１番の１件について質疑に入ります。質疑はありませんか。 （ なしの声 ）
議長（会長）	ないようですのでお諮りいたします。 議案第２８号、受付番号１番の１件を承認してよろしいでしょうか。 （ 異議なしの声 ）
議長（会長）	異議なしということでありますので、議案第２８号、受付番号１番の１件を承認し、市へ通知します。
議案第２９号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定分	

議長（会長）	<p>次に議案第２９号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、受付番号１番から６番の６件を議題といたしまして審議を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第２９号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分は受付番号１番から６番の６件であります。</p> <p>事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番から６番の６件は、先ほど議案第２８号で説明いたしました「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。</p> <p>また、受付番号４番につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項第４号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。受付番号４番につきましては、所有権を有する全ての者の同意が得られているため、該当要件を満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、受付番号１番から３番の３件について、７番委員より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。</p>
７番委員	<p>議案第２９号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、私の担当区域である受付番号１番から３番の３件を報告します。</p> <p>受付番号１番から３番の３件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及びその世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、受付番号１番から３番の３件はすべて満たしているため何も問題ありません。</p> <p>また、受付番号１番の受人は新規就農者であります、施設キュウリ栽培の営農計画が提出されております。受人は就農をするため、本城地区のキュウリ農家で１年間の研修を終えられ、親戚である渡人が所有する既存ハウスと農地を借受け、経営を行うものでございます。これからは夫婦でキュウリ専業農家として経営を行うために、地域のキュウリ農家からの技術指導を受けながら経営確立を目指していくとのでありますので、問題ないと考えます。皆様のご審議方よろしくをお願いします。</p>
議長（会長）	<p>次に受付番号４番から５番の２件について、１６番委員より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。</p>

1 6 番委員	<p>議案第 2 9 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、私の担当区域である受付番号 4 番と 5 番の 2 件について報告します。</p> <p>受付番号 4 番と 5 番の 2 件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及びその世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、受付番号 4 番と 5 番の 2 件はすべて満たしているため何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長（会長）	次に受付番号 6 番の 1 件について、1 5 番委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。
1 5 番委員	<p>議案第 2 9 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、私の担当区域である受付番号 6 番の 1 件について報告します。</p> <p>受付番号 6 番の 1 件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及びその世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、受付番号 6 番の 1 件はすべて満たしているため何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまから議案第 2 9 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件について質疑に入ります。質疑はありますか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。</p> <p>議案第 2 9 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	異議なしということでありますので、議案第 2 9 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を承認し市へ通知します。
議長（会長）	<p>以上を持ちまして、第 5 回農業委員会定例総会のすべてを終了いたします。</p> <p>次の総会は、1 1 月 2 8 日（火曜日）に開催いたしますが、1 1 月総会は議会開会により事務局の対応を考</p>

議長（会長）

慮し、午前 9 時に開催しますので時間を間違ふことのないよう、よろしくお願いします。

平成 2 9 年 1 0 月 3 1 日

1 番 (会長)

議事録署名委員

7 番

1 1 番